

能と息 息とこころ

創作能 オンディーヌ

作・演出 日本間生夫 シテ 梅若猶彦

日時 平成二十四年十月十三日〔土〕 午後六時三十分開演

会場 鷺峰山^{じゅぶさん} 高台寺

Onidine Noh

Written & Artistic direction by Ikuo Homma
Cast: Naohiko Umewaka

能と息 息とこころ

創作能 オンデイナーヌ

日本の古典芸能として650年前に生まれ、世界無形文化遺産にも指定されている能楽。

その身体芸術における表現の基本は「呼吸」です。

呼吸が変わると身体の様相が変わります。

ヒトの呼吸と情動の関係を研究するうちに、情動にかかわる

脳の活動が呼吸リズムにリンクして現れてくることを見つけました。

呼吸が変化すると情動が変わり、

情動が変化すると呼吸が変わるのです。

新作能「オンデイナーヌ」を発表するに当たり、能を通して、

芸能と科学の繋がりを表現しました。能におけるこころの表象は

呼吸を介しているのです。なぜ、「オンデイナーヌ」を能にしたのか。

呼吸器疾患のなかに、睡眠時無呼吸症候群と呼ばれる、

眠っているときに何回も呼吸が止まってしまう疾患があります。

その中の中枢性無呼吸症候群を別名「オンデイナーヌの呪い」と

呼んでいます。オンデイナーヌと呼吸これが能と呼吸に結びつけた

理由なのです。オンデイナーヌは1811年ドイツ後期ロマン派の

作家フーケが出版したウンデイナーネが原作で、その後1939年に

ジロドーにより戯曲が作られました。オンデイナーヌは泉の妖精で、

人間の男に恋をし、人間界に降りてその男と結婚します。

水界の掟により、その男にはオンデイナーヌを裏切ると、眠りについた

ときに呼吸が止まる、という妖術をかけられてしまいます。

しかし、夫となったその男は結局裏切ってしまうのです。

オンデイナーヌは夫を必死にかばうのですが、その男は最後には

眠りにつき呼吸が止まり、死んでしまいます。

決してオンデイナーヌが呪いをかけたわけではないのですが、

呼吸の臨床現場では「オンデイナーヌの呪い」

という言葉がしばしば使われるようになりました。

能「オンデイナーヌ」では男はすでに亡くなり、年老いたオンデイナーヌが

泉のほとりの苦屋でひとり男を思うところから始まります。

能におけるこころの表象としての呼吸、

そこから生まれる呼吸の美学を

美しいオンデイナーヌを通してお楽しみください。



昭和大学医学部生理学教室教授

医学博士 本間生夫

第一部

解説「呼吸生理学者から見た能と呼吸」

本間 生夫

オーボエ独奏「オンデイナーヌによせて」

オーボエ奏者 本間 正史

第二部

創作能「オンデイナーヌ」

作・演出 本間 生夫

シテ 梅若 猶彦 ツレ 梅若 善久

間狂言 三宅 近成

笛 藤田 貴寛

小鼓 久田 舜一郎

大鼓 河村 眞之介

太鼓 上田 悟

●プロフィール

本間 生夫 呼吸生理学者

昭和大学医学部教授。

情動と呼吸に関する研究から、

心と呼吸の密接な関係を示している。

息苦しさを感じる「呼吸筋ストレッチ体操」など

呼吸リハビリテーションの研究を進めている。

能との出会いは著書「息のしかた」(朝日新聞社)から。

『Breathing Mind in Noh』(Springer Verlag 2006)で

シテ方の脳活動と呼吸の関連を示した。

著書に「呼吸を変えるだけで健康になる」(講談社)など。

現在、文部科学省教科書用図書検定調査審議会委員。

日本学術会議連携委員、日本情動学会理事、

学校法人花田学園理事。

梅若 猶彦 能楽師 観世流シテ方

梅若猶義並びに二世梅若万三郎に師事。

三歳で仕舞にて初舞台、九歳で初シテ「土蜘蛛」

その後「乱」「翁」「道成寺」等の古典能を披く。

古典以外にも現代劇の脚本や創作能の演出も多い。

2006年 UNESCO Theater Olympics of the Nations in

Manilaにて現代劇「Coffee Shop within the Play」を発表し、

Inquirer 紙にて絶賛された。2012年度シカゴポール

艺术节でのオンケンセン演出「Lear Dreaming」に

Lead 役で参加、各紙にて絶賛される。

2008年度文化交流使(文化庁)など。

著書に「能楽への招待」(岩波新書)など。

現在、静岡文化芸術大学教授。

ロンドン大学ローヤルホロウェイ客員教授、

プリンストン大学客員芸術家を経て

フィリピン大学客員教授。

本間 正史 オーボエ奏者

オーボエを鈴木清三に師事。

桐朋学園大学を卒業。

在学中よりパロックオーボエの奏法および

その複製の研究を独自に開始。

卒業後東京都交響楽団に入団。

その後アン・ハーグ王立音楽院に留学。

ブルース・ヘインズ、

シギスワルト・クイケンに師事するとともに

アムステルダム・ダンツイ・クインテットの

メンバーとしても活躍。

現在、都響首席オーボエ奏者を経てフリーで活躍。

平成24年

10月13日(土)

午後6時30分開演
(午後6時開場)

◎料金：5,000円

◎チケット申し込み

本間生夫 呼吸ワールドのホームページからお申し込みいただけます。

<http://www.iki-iku.com>

※先着200名様

[お問合せ] 昭和大学医学部生理学教室 TEL.03-3784-8113 平日10時～17時

◎会場

鷲峰山 高台寺

京都市東山区高台寺下河原町526番地

●JR京都駅 近鉄・京都駅 京阪電車・祇園四条駅
阪急電車・河原町駅より市バス東山安井亭下車・
東へ徒歩5分

●JR京都駅・近鉄京都駅からタクシーで15分



高台寺 観月台